

2005年 10月 5日

【報道関係各位】

株式会社ベネッセコーポレーション  
代表取締役社長兼 COO 森本昌義  
(コード番号 9783 東証・大証第一部)

## 幼児の生活は5年前に比べ、就寝時刻が早まり、テレビ視聴時間も減少 習い事の開始が低年齢化、保護者とのかかわりは強まる

～「第3回幼児の生活アンケート調査」結果速報～

株式会社ベネッセコーポレーション(代表取締役社長兼 COO: 森本昌義、本社: 岡山市、以下ベネッセ)のシンクタンク「ベネッセ教育研究開発センター」では、2005年3月に乳幼児のいる首都圏の保護者約3000名を対象に、幼児の生活や保護者の子育て意識に関するアンケート調査を実施しました。

本調査は、1995年、2000年に続く3回目の基本調査で、過去10年間の変化がわかります。今回確認できた幼児の生活状況では、以下の点が特徴となっています。

- ・2000年調査で見られた就寝時刻の夜型化の進行が止まり、早起き化の傾向が見られます。
- ・テレビ・ビデオ・DVDの視聴時間の合計は平均3時間49分で、10年前より低下しています。
- ・子どもが誰と一緒に遊ぶかという質問では、「母親」の数値が大きく伸びています(複数回答: 1995年55.1% 2000年68.6% 2005年80.9%)。
- ・習い事をしている比率は、2000年調査と比べ8.1ポイント上がり(2000年49.4% 2005年57.5%)、その開始も低年齢化しています。
- ・一人当たりの教育費の支出は、2000年にいったん減少したものの再び増加し、1995年の水準まで戻っています。

母親の子育て意識は、2000年と比べ「子どもがかわいくてたまらないと思う」「子どもを育てるのは楽しくて幸せなことだと思う」など肯定的な意見が増えています。しかし、同時に「将来うまく育っていくかどうか心配」「子どものことでどうしたらよいかわからなくなる」などといった不安も高まっています。以上は、子どもに対する思いや母親と幼児のかかわりが強まっていることを示すものととらえることができます。

一方、父親の家事・育児への参加状況は、2000年から大きく変わらず、「ごみを出す」のみが10.5ポイント上昇しています(2000年42.8% 2005年53.3%)。

これからの子育てにおいて、母親の子育て不安を軽減するとともに、父親の子育て参加を促進する工夫が改めて必要であり、そのためには社会的なさまざまなサポートが欠かせません。

### 1. 第3回幼児の生活アンケート調査の概要

目的	乳幼児の生活の様子、保護者の子育てに関する意識や実態を捉える
時期	2005年3月
対象・方法	首都圏(東京と、神奈川県、千葉県、埼玉県)の0歳6か月～6歳11か月の乳幼児をもつ保護者2,980名(配布数7,200名、回収率41.1%)、郵送法(自記式アンケートを郵送により配布・回収)
企画・分析 メンバー	白梅学園大学学長・無藤隆 / 新宿区立愛日幼稚園園長・佐藤暁子 / お茶の水女子大学大学院博士課程・荒牧美佐子 / ベネッセ教育研究開発センター・木村治生教育調査室長、邵 勤風 研究員、鈴木尚子研究員、高岡純子研究員

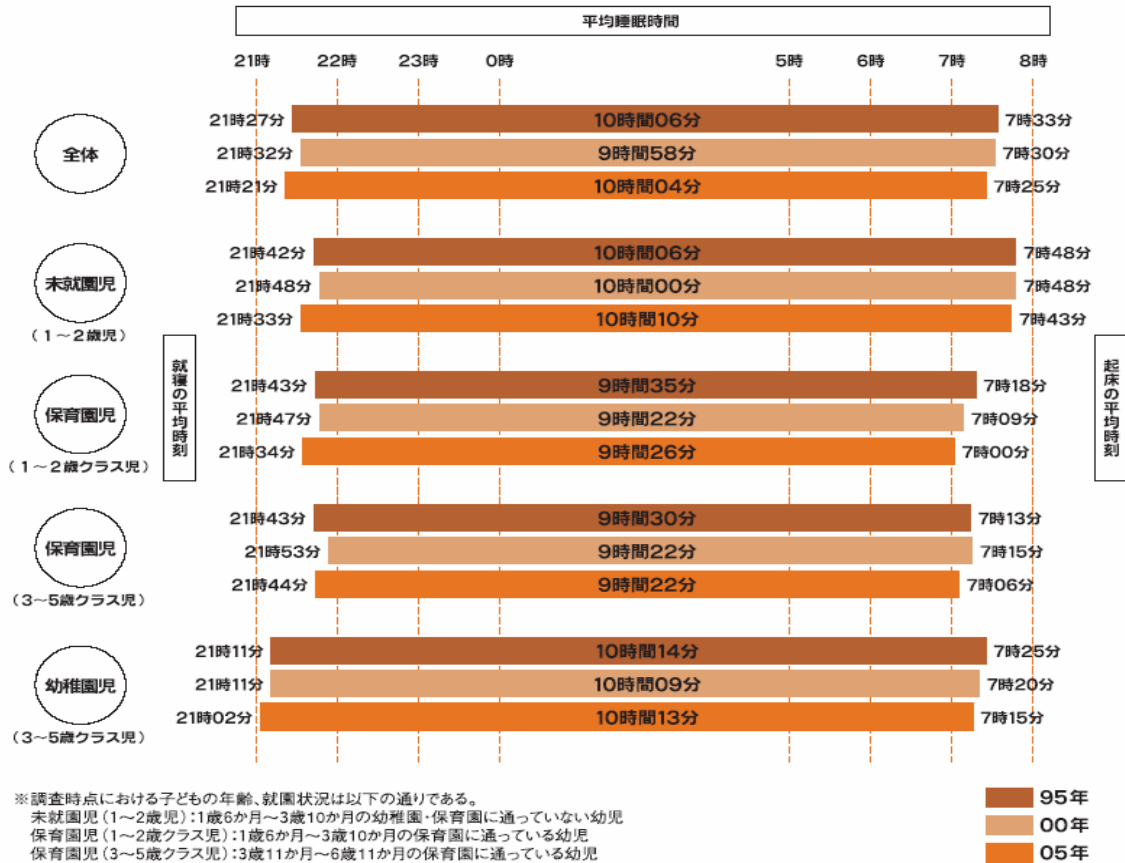
## 2. 調査結果概要

### 幼児の生活時間(睡眠時間、テレビ等の視聴時間)

図1：就寝・起床の平均時刻と平均睡眠時間（全体・子どもの年齢別・就園状況別 10年比較）

（速報版 4p.）

**年齢や就園状況により睡眠パターンが異なっています。全般的に早寝早起きになっています。**



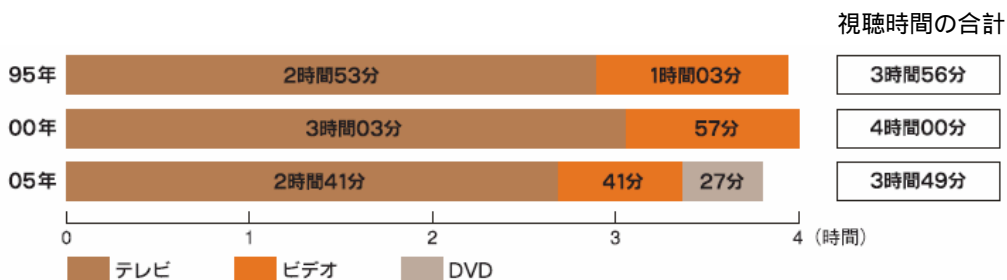
※調査時点における子どもの年齢、就園状況は以下の通りである。  
 未就園児(1~2歳児):1歳6か月~3歳10か月の幼稚園・保育園に通っていない幼児  
 保育園児(1~2歳クラス児):1歳6か月~3歳10か月の保育園に通っている幼児  
 保育園児(3~5歳クラス児):3歳11か月~6歳11か月の保育園に通っている幼児  
 幼稚園児(3~5歳クラス児):3歳11か月~6歳11か月の幼稚園に通っている幼児

■ 95年  
 ■ 00年  
 ■ 05年

※就寝と起床の平均時刻は、「21時頃」を21時、「23時半以降」を23時30分のように置き換えて算出した。また、平均睡眠時間は、就寝時刻と起床時刻から算出した。

図2：平均メディア視聴時間（10年比較）（速報版 6p.）

**テレビ視聴やテレビゲームで遊ぶことが減少傾向にあります。**



※「テレビ」「ビデオ」「DVD」を使う頻度に関する設問で「ごくたまに見ている」「ぜんぜんさわらない・使わない」「使わせない・見せない」「家にない」と回答した場合は、「0時間」として平均視聴時間を算出した。

## 習い事や教育費の状況

図3：習い事をしている割合（5年比較）（速報版 8p.）

習い事が、2000年調査と比べ8.1ポイント上がっています。

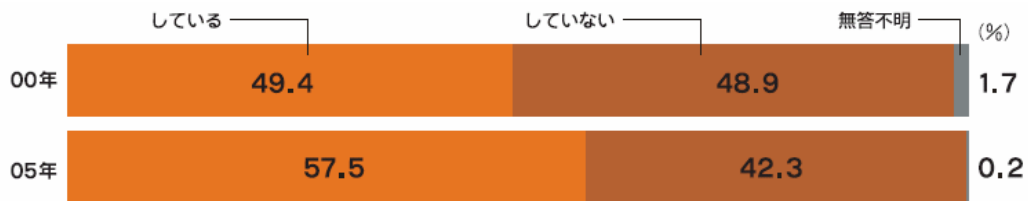


図4：習い事をしている割合（子どもの年齢別 5年比較）（速報版 8p.）

習い事の開始が低年齢化しており、3歳児で過半数に達しています。

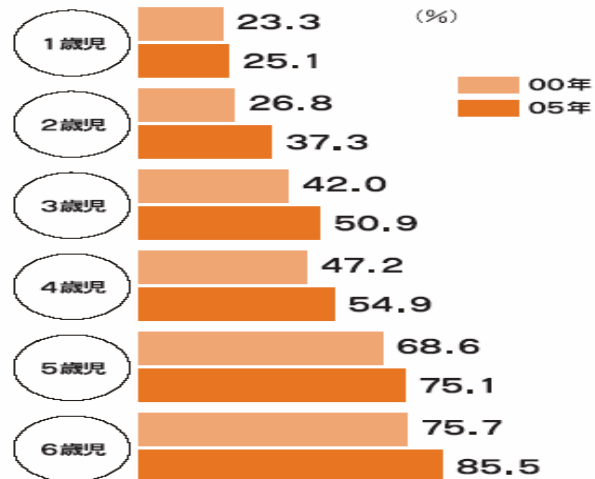
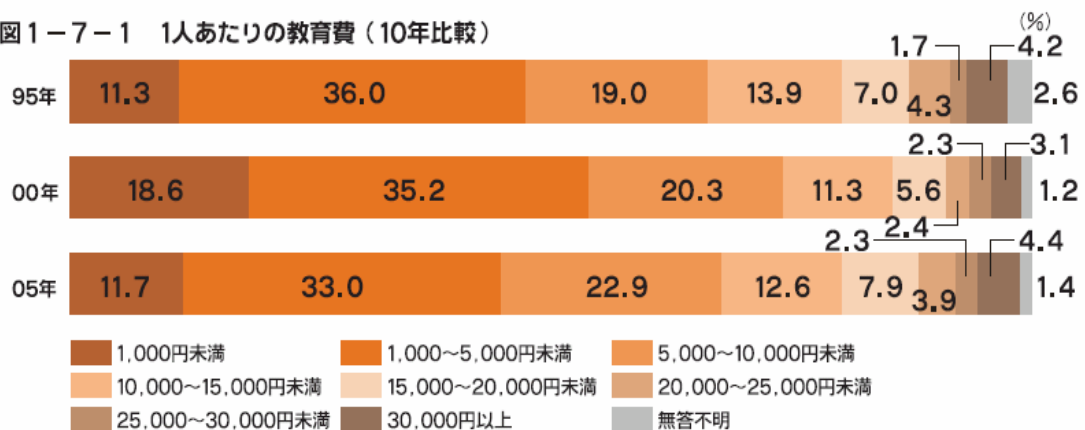


図5：1人あたりの教育費（10年比較）（速報版 9p.）

教育費の支出は一度落ち込んだものの、ここ5年間で増加し1995年水準に戻っています。

（1人あたりの平均教育費：1995年 8,556円 2000年 7,323円 2005年 8,771円）

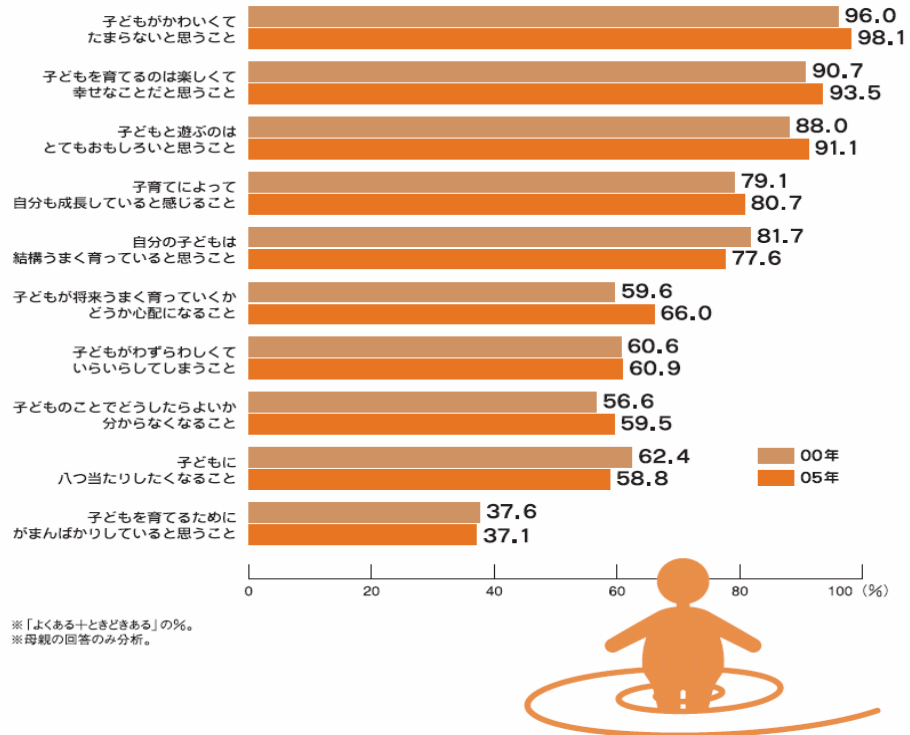
図1-7-1 1人あたりの教育費（10年比較）



## 母親の子育て意識

図6：母親の子育て意識（5年比較）（速報版 13p.）

子育てへの肯定的な意見が増えています。



## 父親の育児・家事への参加状況

図7：父親の育児・家事への参加状況（5年比較）（速報版 14p.）

2000年時点と大きく変わっていません。若干低下している項目がいくつか見られます。

